


# 第11回 がんばれ西高!

## 第45回 全国高校バスケットボール選抜優勝大会 (ウインターカップ)

### 強豪相手に大健闘!



【男子1回戦・松江西―延岡学園】第2ピリオド、松江西の藤井成悟(右)がシュートを決め19―26とする。東京体育館

### 松江西 反撃及ばず 延岡学園(宮崎)の地力に屈す

男子

△1回戦  
延岡学園 73 20 15 58 松江西  
宮崎 24 11 21 11

【評】序盤から迫る展開となった松江西は、第3ピリオドに最大12点差を逆転し、食い下りしたが、延岡学園の地力に屈した。

松江西は前半途中、連続12点を挙げ、残り2分で47―45と逆転。その後、再逆転を許したが、食らいつき、最終ピリオド開始直後、セネガル人留学生に對抗したが、抑えきれず、26―34で折り返した。それでも、第3ピリオドは盛り返し、フォワードの佐々木、小沢の速攻を足掛かりに連打が続き、力尽きた。

#### 第3ピリオド驚異の粘り

24年ぶりの出場となった松江西の挑戦は8月の全国高校総体に続く初戦敗退で終わった。全国の厚い壁にはね返され、選手たちは唇をかんだが、2011年、12年大会連覇の強豪を相手に一歩も引かず「あわや」と思わせた戦いぶりは光った。松江西は立ち上がりから先行を許し、相手の留學生選手の高さに悩まされた。

しかし、オフエンスリバウンドで踏ん張り、ボール保持率では互角。外からのシュートやドライブで相手ゴールに迫り、第3ピリオドには最大12点差をひっくり返す、驚異的な粘りを見せた。最後は地方の違いが出て、15点差の敗戦。加藤誠治監督は「追いつけても、すぐ離されない」と全国との差をかみしめた。それでも、最後まであきらめない戦いぶり、確かに会場を沸かせた。観客席に向かい、深々と頭を下げた福島征美主将は「夢の舞台で最高のチームメイトと試合ができてよかった」とすがすがしい表情でコートを去った。

松江西	58	$\left\{ \begin{array}{l} 15 - 20 \\ 11 - 14 \\ 21 - 15 \\ 11 - 24 \end{array} \right.$	73	延岡学園(宮崎)
-----	----	---	----	----------

12月23日から東京体育館で開催されているウインターカップに本校男子バスケットボール部が出場し、初日1回戦、宮崎県代表延岡学園と対戦しました。

2011、12と大会2連覇を果たし、身長210cmのセネガル人留学生を擁する強豪相手に一歩も引かない戦いぶりは、会場を大いに盛り上げ、一般の観客の方々からも本校選手への声援をたくさんいただきました。